

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和6年1月31日(水) NO2 | 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

はびこる「人をダメにするコトバ」

今週の火曜日に生徒指導の先生から、全校一斉に校内放送がありました。この類の放送は大体いいケースではなく、交通マナー違反や地域からの苦情が殆どです。今回、また残念なことが起きてしまいました。年度初めから「人をダメにするコトバは使わない」と生徒に口酸っぱく話をしてきましたが、今回心無いメモ書きが見つかりました。「ウザイ、キモイ、消えろ、むかつく、死ぬ」という言葉を「人をダメにするコトバ」と表現しています。三股中では年度初めにこの言葉を学校から無くすことができれば、それは素晴らしい学校になると生徒にメッセージを送り、それに応えた生徒会が「サツキ言葉」というとても素晴らしいプラスの言葉を提言してくれました。終業式等でも生徒の作文の中には、言葉の大切さや人の命を尊ぶことの重要性を訴える内容がたくさんありました。しかし「人をダメにするコトバ」はなくなっていない。生徒指導の先生からは強い口調で、これらの行為は犯罪であることや、人権や人命を無視した行為であることなどがメッセージされました。何より、このメモをもらった生徒、そのご家族の方は地獄のような日々を送っていることと思います。学校を預かる身として、とても反省し心が痛みます。生徒の皆さんには、これからどのように言葉をかけていけばいいのか分からなくなります。今、石川県では多くの方が亡くなり被災生活を送っている様子もメディアで取り扱われています。そういう映像を見て、命について考えないはずがありませんし、中学生は子どもだから仕方がない…で済まされる話でもありません。もちろん今でも善悪の判断はついているものと思いますが、それを実行できない人が、まだこの学校にいることを、とてもむなしく思うのです。あの時の、生徒指導の先生の話も、どんな気持ちで聞いていたのだろう。今どんな気持ちなんだろうと思うと切なくて仕方がありません。詳しいことは全職員に話をして、共通理解をし共通実践をします。悪は許すことができないのです。若さゆえに繰り返す失敗を若気の至りと言いますが、このことは若気の至りではありません。人の命を軽んじる発言は犯罪なのです。生徒の皆さんにもう一度問いかけたいと思います。あなた達が生活するこの学校が、本当に温かく心優しい場となるように力を貸してください。そこには、努力は必要ありません。必要なことは愛情と常識だけです。